

Voice Command AI Partner

話しかけるだけで、 仕事が前に進む。

ボイスコマンドAIパートナー — 話しかけるだけで動く仕組み(予定を含む)

ボイスコマンドは、これから付ける予定の機能です。この資料では、描いている構想と、すでに文字や音声メモの形で動かしている部分を、混ぜずに分けてご説明します。

AIが準備し、人が判断する。

Status first

先に、いまの状況を正直に

結論

声で話しかけて動かすボイスコマンドは、まだお使いいただけません。【構想】の段階です。土台になる「LINEに送った文字・音声メモを整理して残す」部分は、当社内で【試験運用中】です。

範囲	状況	内容
声で話しかけて予定・仕事を動かすボイスコマンド	【構想】	対話を入口に、確認から記録まで支える構想です。
LINEに送った音声メモの文字起こしと整理	【試験運用中】	音声を文字にして保存し、種類分けして記録します。
予定・やること・リマインドの登録と通知	【試験運用中】	文字で送った内容を登録し、朝のまとめや直前の通知を返します。
承認待ちの一覧を見て、人が承認する仕組み	【試験運用中】	AIが公開や実行を勝手に進めず、人が承認する流れで運用しています。
テーマを送ると媒体別の下書きを一度に作る	【試験運用中】	公開はせず、必ず下書きで止めます。
「話す・書く・残す」から発信を作る「VOICE TO VALUE OS」の全体像	【構想】	提案資料の段階です。一部の部品のみ試験運用中です。

ラベル	この資料での意味
【提供中】	ご相談を受け付け、導入や設計をお手伝いできるもの。
【試験運用中】	当社の中で動かして確かめている段階。仕様は変わることがあります。
【準備中】	準備を進めている段階。まだお使いいただけません。
【構想】	方向性の段階。実現の可否や時期は未定です。
【保留中】	判断や確認の結果待ちで、進めていないもの。

Concept

構想している7つの機能

「予定を読み上げる」だけの音声アシスタントでは足りません。会話から仕事を整理し、承認を経て進め、履歴として残すことまでを一つの流れとして描いています。

機能	できるようにしたいこと	状況
1 今日の司令室	今日の予定・仕事・期限・未返信・確認事項を、話しかけて一画面に整理する。	【構想】
2 タスク分解と案件の記憶	曖昧な依頼を、担当・期限・必要資料・次の行動に分け、顧客や案件の履歴とつなぐ。	【構想】
3 検索と調査の相棒	権限のある資料・議事録・台帳から探し、参照元を示して比較・要約する。	【構想】
4 資料の下書き	提案書・報告書・メール・議事録・FAQ・プレゼンの下書きを作り、人の確認を前提に仕上げる。	【構想】
5 会議の前後を支える	会議前の要点、記録、宿題の抽出、担当の割り当て、引き継ぎを整理する。	【構想】
6 承認センター	重要な操作は必ず人が確認し、承認・差し戻し・履歴記録を行う。	【構想】
7 複数のAI・業務ツールの連携	目的ごとに適切な処理を使い分ける。開発を予定している拡張構想。	【構想】

機能1・2・6は初期に提供したい機能、3～5は導入設計のご相談から始められる拡張機能、7は開発予定の機能として整理しています。いずれも対象業務と権限に応じて、段階的に定義します。

A day with it

一日の使い方のイメージ

朝

「今日の優先順位を教えてください」

予定・期限・優先度を確認し、まず手を付けることを示す。

昼

「会議の内容をタスクにして」

宿題・担当・期限を整理し、確認待ちとして並べる。

夕方

「止まっている案件を教えてください」

未返信や確認待ちを把握し、翌日の動きにつなげる。

導入前によくある状態

- 探す、忘れる、書く、聞き直す
- 引き継げない
- 予定・メール・資料・案件が分断される

目指す状態

- 話す、整理される、確認する
- 承認する、進む、残る
- 次に何をすることが見える

これは構想の使い方イメージです

上の使い方は、**完成後に目指している姿**です。現在そのままお使いいただける機能ではありません。いま近い形で使えるのは、文字や音声メモをLINEに送る方式(試験運用中)です。

VOICE TO VALUE OS

声と文章から、発信と導線を作る提案

もう一つの構想が、話す・書く・残すだけで、**信頼される発信と顧客への導線**を作る仕組みです。発信が続かない理由を、素材が散らばっている、仕組みが人に依存している、導線が設計されていない、の三つと見立てています。

1 集める

音声メモ・会話・資料を受け取る。

2 整える

AIがテーマや論点に整理する。

3 台帳に残す

探せて再利用できる形で保管する。

4 媒体別の下書きする

記事・SNS・メールなどの下書きを作る。

5 人が承認する

公開の可否は、人が内容を見て決める。

6 届ける

承認されたものだけを、各媒体へ公開する。

7 導線につなぐ

発信から相談・参加・購入へつなぐ。

8 再利用する

過去の発信を資産として、次の発信に活かす。

部分	状況
全体の仕組み(VOICE TO VALUE OS)	【構想】
LINEからテーマを送り、媒体別の下書きを作る(公開はしない)	【試験運用中】
承認後にSNSへ予約投稿する流れ	【試験運用中】

Safety and start

安全の原則と、始め方

- ✓ 分からなければ、勝手に進めず確認する。
- ✓ 回答には根拠と参照元を示す。
- ✓ 権限のない範囲は実行しない。
- ✓ 重要な操作は、人が承認してから実行する。
- ✓ 未完了のものを隠さず、履歴を残す。

1 業務の棚卸し

話しかけて動かしたい仕事を書き出し、頻度と手間を確認します。

2 音声指示のワークフロー設計

どの言葉で、どこまで動かすかを決めます。

3 小さな試作

一つの業務に絞って試作し、承認の流れとあわせて確かめます。

ご相談について

対話型のAIパートナーの試作範囲を、業務の棚卸しから一緒に設計するご相談は【提供中】です。ただし、ボイスコマンドそのものの提供開始時期は決まっていません。

ご相談から支援開始までの流れ

1 ご相談(無料・オンライン可)

いま起きていること、困っていることをそのままお話しください。整理されていなくて構いません。

2 状況と論点の整理

確認すべき事項、関係する制度、必要な資料、想定される期限を一覧にしてお返しします。

3 進め方のご提案

CO-LINKが担う範囲、専門家に依頼する範囲、費用と期間の目安をお示しします。

4 着手・進行管理

実務の実行と関係者調整を進め、決定事項と次の一手を記録して共有します。

本資料の位置づけと注意事項

- 本資料は一般的なご案内であり、個別の法的・税務的・財務的な最終判断を示すものではありません。
- ボイスコマンドは構想段階であり、提供開始の時期・費用・対象範囲は決まっていません。
- 効果を保証するものではありません。AIの出力には誤りが含まれることがあり、重要な判断は人が行います。
- 個人情報・顧客情報・機密情報は、権限と保存範囲を限定して扱います。
- 制度・法令・要件は改正されることがあります。ご検討の際は必ず最新の公式情報をご確認ください。
- 採択・受給・融資・採用・成約・売却・節税などの成果を保証するものではありません。
- 資格が必要な業務(法律・税務・登記・労務・許認可・鑑定評価等)は、有資格者がそれぞれの責任において行います。

※これは一般情報です。最終判断前に必ず該当分野の専門家へ確認してください。

株式会社CO-LINK

〒225-0015 神奈川県横浜市青葉区荏田北1-2-1
Platform412
TEL 050-3155-1904 / info@co-link1618.com
法人番号 3020003026938

お問い合わせ

Web:co-linkweb.com
お問い合わせフォーム:co-linkweb.com/contact
無料診断:co-linkweb.com/diagnosis